

催事の基本的な考え方

催事計画では、愛知県の出展参加の意義やメッセージを幅広い層の来館者に実感してもらい、共感を呼ぶ場や機会の提供に配慮していきます。

特に21世紀最初の国際博覧会の開催地元県として、愛知県のイメージ形成や県民の地域づくりへの活動が世界へと広がっていく催事を推進します。そのために広く県民の主体的な参加を呼びかけ、愛知県内の文化や歴史、そして循環型社会の実現に向けた県民の活動を県民とともに掘り起こし、催事を通して「エコ・コミュニティの実現」をめざす愛知を世界にアピールします。

基本方針

1. 広い層の県民が主体的に参加する催事の実現

県民が企画から実施・運営にいたるまで幅広く参加できるしくみを構築し、地域の文化・歴史、地域づくり活動の再確認ができ、さらなる発展の機会が得られる場として活用していきます。

2. 会期中に行われる愛知県内の催事と会場を連携し、県全体で国内外からのお客様をもてなす催事の実現

県内の催事や循環型社会づくりに向けた活動など県内と会場を結ぶ催事を実行することにより、愛知県全体がもてなしと祝祭の空間になることをめざします。

3. 展示と催事が融合した展開

展示と催事を機能と場に分けて別々に展開するのではなく、展示を活用した催事や、展示空間と催事空間が融合した展開など新しいスタイルの催事展開をめざします。

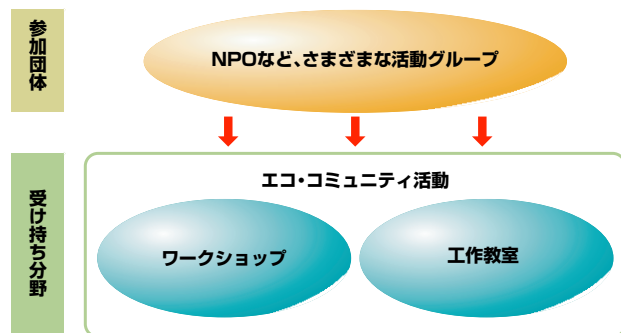
4. 会場と地域を情報技術で結び発信する情報交流型の催事の実現

会場だけで展開するのではなく、情報技術を積極的に活用した会場と地域を結んだイベント展開やインターネットを活用した情報発信、また企画段階から開催までのプロセスの公開や開催後の記録・保存化など、情報化時代にふさわしい催事の展開をめざします。

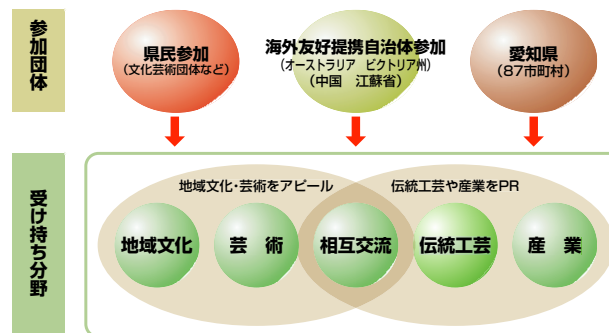
5. 当日で完結するのではなく継続的につながる催事の実現

催事のプログラムを構築していくうえで、企画段階から県民をはじめNPOなど各種団体、企業、行政とのネットワークを構築し、愛知万博以降も催事の資産が地域づくりに役立つしくみの構築をめざします。

海上地区 県パビリオン「コラボレーション空間」



青少年公園地区 県パビリオン「催事空間」



青少年公園地区パビリオン【zone3.催事空間】

あいち・おまつり広場（仮称） 〈わたしたちの「理想」を交流を通じて育む〉

「あいち・おまつり広場」
にぎわいで広げる楽しい空間。
県内各地域が「エコ自慢」も繰り広げる多目的な広場。

ねらい

愛知県内各地域が、豊かな地域資源を日替わりで賑やかにパフォーマンスします。地域に根ざした産業には、自然に負荷をかけずそのエネルギーを効率的に活かす知恵もあります。例えば金魚の養殖には水質を浄化するシステムが、花卉栽培にはエコに配慮した土壌改良技術が秘められています。こうした「地域のエコ自慢」もあわせて展示紹介します。観光や物産品の即売、祭りや踊り、歌などの伝統文化や芸能の披露も展開し、万博ならではのすてきな時間を創ります。この空間は、市町村を始め各地域の県民が中心となって共同で運営し、愛知を世界にアピールします。

展開内容

（行事）

・開・閉会式、各種歓迎式典、節目入場者セレモニーなど

（催事）

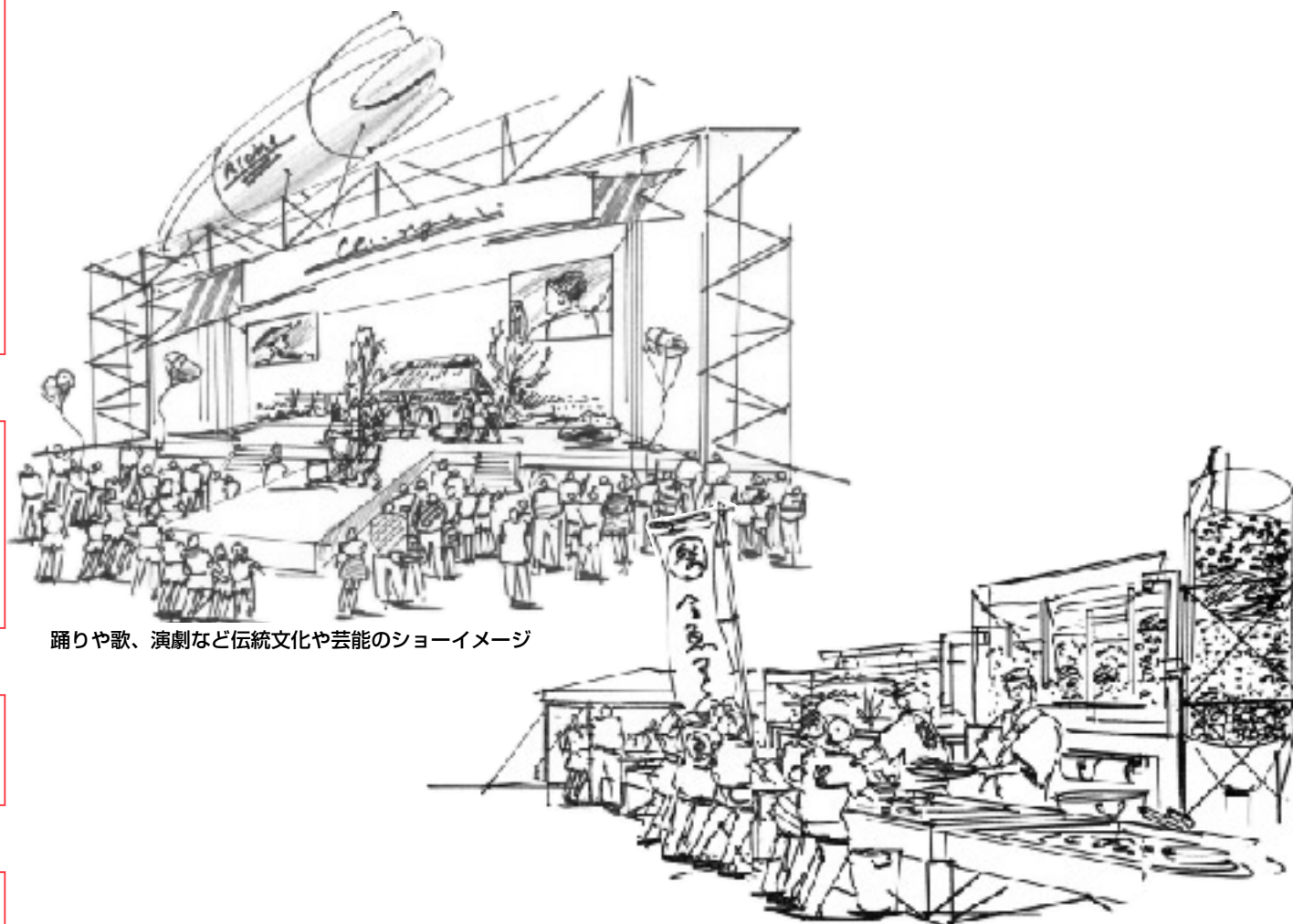
・オープニングイベント、県企画イベント、県民参加・市町村イベント、海外友好提携自治体イベントなど

展開手法

・ステージ空間と即売など展開可能なお祭り広場
・舞台装置等を収納する備品庫
・屋外に設置することもできる各種照明、音響機器

施設規模

面積： 約1,500m²
収容人員： 約300～500人



踊りや歌、演劇など伝統文化や芸能のショーイメージ

金魚の養殖などの縁日のおまつりイメージ

展開内容

【行事例】

| 行事名 | 概要 |
|-------------|---|
| ①開館式 | 県知事がホストとして、国や博覧会協会関係者、県関係者及び催事参加団体の代表者らを迎えて行う、テープカットセレモニーなどの開館セレモニー。 ○実施時期：会期前の関係者内覧日を想定 |
| ②催事参加者の歓迎式典 | パビリオンの館長から、各日の催事参加団体の代表者に参加証の授与を行う。また、各団体の代表者が参加宣言を行い、1日の催事の始まりとする式典。 ○実施時期：会期中各日 |
| ③節目入場者セレモニー | 来館者100万人達成などの達成記念式典。節目入場者に対し実施する写真撮影及び記念品贈呈式。 ○実施時期：50万人毎の到達日 |
| ④閉館式 | 国や博覧会協会関係者、県関係者及び催事参加団体の代表者らを迎え、閉幕日に行うクロージングセレモニー。 ○実施時期：9月25日 |

【催事例】

| 催事名 | 概要 |
|------------------|---|
| ①オープニングイベント | 万博の開幕を世界中にアピールする華やかなイベント。愛知県が中心となって、単独あるいは諸団体・企業と共同で企画・実施する。 ○構成要素：愛知県に縁のあるアーティストの公演・愛知県の郷土芸能など ○実施時期：3月25日 |
| ②県企画イベント | 愛知県が中心となって、単独あるいは諸団体・企業と共同で企画・実施するイベント。 ○構成要素：芸術文化団体による公演など ○実施時期：各月において1～2日 |
| ③県民参加イベント | 愛知県内の諸団体等が出演する一般公募によるイベント。 ○構成要素：諸団体やサークルなどによる各種パフォーマンス ○実施時期：土日を中心に展開 |
| ④市町村イベント | 愛知県内の市町村による催事。各地の地域文化・芸術の公演や伝統工芸・産業のPRなどにより地域特性をアピールする。 ○構成要素：各市町村を代表する芸能の公演・市町村の伝統工芸や産業の即売・PRコーナーなど ○実施時期：平日を中心に展開 |
| ⑤海外友好提携自治体参加イベント | 愛知県と海外友好提携を結ぶビクトリア州（オーストラリア）と江蘇省（中国）による催事。 ○構成要素：州・省の特色ある催しなど ○実施時期：会期中において1自治体1週間を想定 |
| ⑥フィナーレイベント | 万博の閉幕に花を添えるイベント。愛知県が中心となって、単独あるいは諸団体・企業と共同で企画・実施する。 ○構成要素：愛知県出身あるいは縁のあるアーティストの公演・愛知県の郷土芸能など ○実施時期：9月25日 |

テーマ **森の鼓動と呼吸** ～かつてない自然発見の場～

コンセプト **森と人の命の融合** 小さな森=そこに生きる野生動物の鼓動や呼吸と駆け合うことで、小さな森すらも秘める生命連鎖の不思議な力や人の生命が森の生命と連携していることを感動をもって識る場とします。

zone 1 **シアター空間**

海上の森で自然を識る

海上の森を真摯に見つめ、小さな森すらも秘める「自然の生命力の底知れない世界」を体感する。

森のカウンタータ

概要

森の鼓動と呼吸に包み込まれる
不思議シアター

海上の森に住まう動物、昆虫、植物などの高鳴る鼓動と息づく呼吸を、移り変わる四季の美しい海上の森の風景の中で堪能。みずみずしい映像と4D体感の複合演出により、あたかも森の中にいるかのような体験をします。

- ・あらかじめ収録した自然の音を叙情詩的な楽曲に編曲
- ・海上の森の四季を中心に、世界各地の自然界の生物の営みの映像と音を高品質で収録・編集
- ・海上の森で取材する音・映像を活かしてつくる立体的な空間を演出

〈展開例〉

1. オープニング～海上の森の今

現在の海上の森の映像。海上の森から見たライブの万博会場など。



3. いきものの鼓動

森の中に息づく生命体の懸命に生き抜く姿(ミクロな世界)。



2. 海上の森の「自然の厳しさ」

厳しい自然(マクロな世界)の中へ…。



4. 森の四季～エンディング

移ろいゆく海上の森のうつくしい風景を見ながら、エンディングへ。



展示内容

展示手法

(シアター)

- ・体感型造形空間
- ・ハイビジョン映像システム、サウンドシステム
- ・音響システム、送風システム、照明システム

(外部システム)

- ・ライブカメラ
- ・音源収集マイク(海上の森内に設置)

zone 2 **ギャラリー空間**

海上の森で自然を学ぶ

人の力がとうてい及ばぬ「生命の尊さと巧みさ」を解きほぐし、人と自然の深いかかわりを再発見する。

命の環

概要

小さな森が持つ
「生命連鎖の仕組み」を学ぶ、
森の清冽な空気感が漂うギャラリー

海上の森の自然と生命体、人間とのかかわりを立体図鑑化。

海上の森で、小さな生命がより大きな生命に食われていく「生命連鎖の環」がどのようにくりひろげられているか、生命連鎖の途上にある動物の絶滅が人の子孫の生存や生命にどう影響するのかなどの問題を考えます。また、来館者を圧倒する展示物を通して、小さな生物が持つ機能など、高度なメカニズムを知り、自然の力、生命の驚異について大きな驚きを持って学びます。

展示内容

展示手法

命のウェブアート

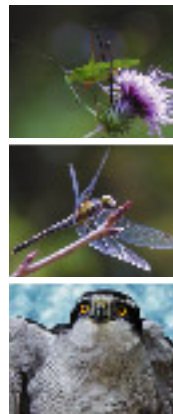
子どもたちが様々な自然素材・リサイクル素材で海上の森に住む昆虫や小動物を模して工作したものを展示します。

- (自然素材)
竹や間伐材、木の実、わら、紙など
- (リサイクル素材)
アルミ缶、ペットボトル、段ボール、CDなど



海上の森の生命のいとなみ

海上の森の動植物の関係を解きほぐし、生物の生命連鎖という原則を学びます。展示では多様な生き物を観察しやすいスケールで配置。小さな森の豊かな生物相と生命連鎖のありようを、昆虫模型やジオラマなどを通して紹介します。



不思議な動物力

生物の持つ環境適応能力、生態、形態など、私たちの暮らしに役立つこうした生き物が持つ能力を3つの分野に分類し紹介します。

(生体)
体内成分や表皮など

(能力)
嗅覚、視覚などの感覚器の能力

(形態)
すみかや体のしくみ



愛知県レッドデータブック

愛知県が作成した600種からなる「レッドデータブック」の詳細を展示。四季折々に撮影された愛知県の美しい様々な生物の姿を背景に、検索装置、パンフレットにより閲覧・検索し、愛知県、そして海上の生き物のありようを知ります。



- ・メッシュ式演示具
- ・プレート

- ・精密カプト虫模型
- ・動物模型(からくり型可動装置)
- ・ジオラマ
- ・拡大鏡
- ・標本箱
- ・映像装置
- ・グラフィック

- ・動物模型
- ・映像装置
- ・グラフィックパネル

- ・双眼鏡型映像装置
- ・検索映像装置
- ・書架
- ・閲覧台
- ・グラフィック

zone 3 **コラボレーション空間**

海上の森で出会う

自然と人、人と人の新たな出会い。

愛知県民によるさまざまなエコ・コミュニティ活動の強力な交流と発信。

自然・ひと・地域の
新ルネッサンス

概要

自然と人、人と人の新たな出会いと交流を体感するコラボレーション空間

エコ・コミュニティ活動に取り組む県民が主役の空間。愛知県が直面する環境課題、そして自然と共生する社会づくりを目指す愛知県民の活動を紹介し、エコ・コミュニティの重要性の理解と、その実現に向けた行動への気運を高める一助とします。

展開内容

展開手法

未来の自画像・7,000,000人のAICHI

人類が抱える環境問題とその解決に向けて取り組む人々の活動をシンボリックな展示物で紹介しします。



- ・イラスト(県民からの公募)
- ・立体絵本
- ・検索映像装置

愛知エコ・コミュニティプラザ2005

愛知県内で取り組まれているエコ・コミュニティ活動を映像化。また、ワークショップなどの催事を通じて、その活動内容に深く接し、学ぶことで、来館者の実践を促します。



- ・ステージ
- ・可動式チェア・畳座敷
- ・ワークテーブル
- ・映像装置
- ・ライブ中継装置

テーマ **環業革命への力** ～環境問題解決の新産業設計図～

コンセプト **環境時代への愛知モノづくりパワー** どう環業革命を起こすべきかを問いかけ、21世紀の環境時代ならではの愛知モノづくり産業興しの設計図を示します。

zone 1 **シアター空間**

わたしたちが「喰べてきた地球」を識る

わたしたちのこれまでの暮らし方を見直し、持続可能な社会を形成するために何をすべきか「気づき」の大切さをメッセージする。

エコ・パノラマ劇場

概要

**気づかず環境負荷をしてきた「私」を
かつてないドキュメンタリー表現で示し、
資源消費の現状を体感するシアター**

環業革命へのうねりを起こすには、消費者の意識の変革が必要です。資源エネルギーの大量消費を繰り返してきたこれまでの暮らしを、具体的に提示します。これにより環境負荷をいかに抑えて暮らすべきか、来館者ひとり一人に考えてもらいます。

〈展開例〉

1. プロローグ (地球の叫び)

薄暗い空間の中に浮かぶ、傷ついた地球と堆積するごみの山。環境破壊の現状。



2. 本編 (消費度体験ショー)

来館者のこれまでの環境負荷度を示しこれまでの生活を振り返る。



3. エピローグ (持続可能な社会のために)

傷ついた地球が再生する様を空間全体を使って表現し、わたしたちがこれからはすべきことを考える。



展示内容

展示手法

- ・没入感を得られる演出が可能なマルチプロジェクトターによる壁面スクリーン
- ・壁には特殊素材壁面を用意し「資源の消費」を表現。
- ・「堆積するごみの山」の造作を設置。

- ・消費を象徴する4つの「地球型モニュメント」は、内部にプロジェクターを設置、壁面映像と連動した映像演出を展開する。

zone 2 **エキシビジョン空間**

わたしたちの内に秘める「技術と発想力」を創る

わたしたちの先人が培ってきた技術と発想力を真摯に見つめ、次世代に引き継ぐ「創造力」の力強さをメッセージする。

未来エコ工場

概要

**過去と未来、
モノづくりへの知恵と情熱が交差する夢舞台**

江戸時代から伝わる「からくり人形」に導かれ、資源の消費と環境危機を解決する道を探る旅に出ます。からくり人形が誘うのは、モノづくりへの熱気溢れる町工場をイメージした空間。

「環業革命」を示唆するシンボルモニュメントを中心に、「環業革命への力」となる愛知の技・先端技術を5つのゾーンで展開します。

愛知を支えた先人の知恵とこれからの愛知を支える夢の技術で、来館者に未来の愛知の姿に夢と希望を抱いてもらいます。

からくりたちのパレード

来館者は、江戸から現代までの各時代の特徴を映す「からくり人形たち」に誘われ、大空間である「未来エコ工場」に入場します。愛知県の伝統技術である「からくり人形」のパレードは、先人たちの偉大な技や発想、愛知県民の飽くなき探求心と情熱を表します。



展示内容

展示手法

- ・各時代(江戸～現代)の特徴を持った数体のからくり人形の行列。
- ・各時代の技術開発の様子を示すパネルや映像。

環業革命あいち

環業革命モニュメント

からくりを始めとする先人から受け継ぐ技術と未来のエコ産業技術を織り交ぜ、愛知の「モノづくり」にかける「人」の情熱と、未来に花開く「技術」を象徴する、壮大なモニュメントです。また、県館の電力が風力発電などの自然エネルギーによって賄われていることを明示し、環境時代の脈動を感じてもらいます。



環業技術ゾーン

モニュメントを囲む空間には、愛知県の最先端技術を総覧する「環業革命あいち」の兆しがあります。愛知の技術が、50年後の愛知エコ・コミュニティにいかに関与するか、5つのゾーンに分け、舞台装置化、からくりキャラクターの案内により、来館者に50年後の愛知の姿に対して思いを馳せてもらいます。



- ・空間全体は町工場の雰囲気。各ゾーンでは最先端技術が生み出される工房・研究室をイメージ。
- ・各ゾーンではステージ仕立ての舞台を設定し、動きのある演出を行う。(からくり仕掛けの動作機構と引回し舞台機構)
- ・展示物は実物装置や未来技術のプロトタイプ。
- ・モノづくりの現場や最先端技術を紹介するモニター
- ・愛知県下の先端的環境活動等を紹介するマルチビジョン
- ・天井からモニターとプロジェクターを懸垂

zone 3 **催事空間**

わたしたちの「理想」を交流を通じて育む

人と人が支えあって生きてきた時間を真摯に見つめ、未来を切り開いていくための「交流」の大切さをメッセージする。

あいち・おまつり広場

概要

**県内各地の魅力発信や交流を繰り広げる
おまつり広場**

愛知県内各地域が有する、観光や物産品などの地域資源を活用し、踊りや歌といった伝統文化や芸能の披露と組合せ、賑やかにパフォーマンスする広場です。ここでは、日本、世界各地から訪れる人々がワクワクする万博ならではの時間を味わえます。

- ・開・閉会式、各種歓迎式典、節目入場者セレモニーなど
- ・オープニングイベント、県企画イベント、県民参加・市町村イベント、海外友好提携自治体イベントなど

展開内容

展開手法



- ・ステージ空間と即売など展開可能なお祭り広場
- ・舞台装置等を収納する備品庫
- ・屋外に設置することもできる各種照明、音響機器

V. 事業スケジュール

| | 平成14年度 | | | 平成15年度 | | | 平成16年度 | | | 平成17年度 | | | | | | | | | | |
|-----|-------------------|---|---|----------|----|----|---------|---|---|-----------------|---|---|--|---|---|----|----|----|---|---|
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 |
| 展 示 | | | | | | | | | | 設置工事 | | | <div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 博 覧 会 開 催 </div> | | | | | | | |
| | 実施設計 | | | 制作・製作・施工 | | | | | | テストラン | | | | | | | | | | |
| 催 事 | 実施計画(プログラム構築) | | | | | | マニュアル作成 | | | テストラン | | | | | | | | | | |
| | 実施計画(計画・シミュレーション) | | | | | | マニュアル作成 | | | テストラン & マニュアル修正 | | | | | | | | | | |
| 運 営 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 基本設計 | | | 実施設計 | | | 建築工事 | | | | | | | | | | | | | |